

- ・学校設置者は調査票ファイル（【学校設置者用】バリアフリー調査.xlsx）を用いて調査を行い、都道府県の所定の部局に提出してください。
- ・調査票ファイルには以下の5種類のシートが含まれています。
 - ・集計票1
 - ・集計票2（小中学校等校舎），集計票2（小中学校等屋内運動場），集計票2（特別支援学校校舎），集計票2（特別支援学校屋内運動場）
- ・このほか，調査票及び集計票への具体的な記入方法については，それぞれの様式の上部に記載してある「記入上の注意事項」や，別シートとして示した「記入例」も参照してください。

【調査1】学校施設のバリアフリー化に関する整備計画の策定状況

- ・学校設置者毎の状況を記載してください。
- ・調査票1シートに記入してください。
- ・調査の他に，学校所在都道府県名，学校設置者名，担当部署・担当者名や，連絡先も記入してください。

（1）学校施設のバリアフリー化に関する整備計画の策定状況

- i) 所管する学校施設に係るバリアフリー化に関する整備計画の策定状況等について記入してください。
 - ① 計画的に整備するための何らかの計画や方針等がある → 「1」を選択
 - ② ①以外 → 「2」を選択

※ 本設問の整備計画は，以下のとおり「学校施設バリアフリー化推進指針」（平成16年3月）で示す既存学校施設に係るバリアフリー化に関する整備計画を念頭においたものですが，学校法人又は学校において策定している様々な計画の中で，設置する学校の施設に係るバリアフリー化に関する計画について記載してある場合，以下の指針の記載を踏まえた上で，学校法人において「①」と判断して回答いただくことも考えられます。

【参考】「学校施設バリアフリー化推進指針」(平成16年3月)(抜粋)

第1章2（2）バリアフリー化に関する合理的な整備計画の策定

地方公共団体等の設置者は，これまで述べた学校施設のバリアフリー化等に関する基本的な考え方を踏まえ，第2章で述べる計画・設計上の留意事項を参考として，既存学校施設のバリアフリー化に関する整備計画を早急に策定し，計画的にバリアフリー化を推進していくことが重要である。

既存学校施設のバリアフリー化に関する整備計画を策定するには，まず，所管する学校施設のバリアフリー化の現状を調査し，障害のある児童生徒等の安全かつ円滑な利用に対する障壁を把握する。その後，それらの障壁を取り除くための整備方法を検討するとともに，必要となる経費を試算するなど全体の事業量を把握する。さらに，将来動向の推計も含めた障害のある児童生徒の在籍状況等を踏まえ，各学校施設のバリアフリー化に関する整備目標を設定し，所管する学校施設に係る合理的な整備計画を策定することが重要である。

（参照 URL：http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/009/toushin/04031903.htm）

ii) (1) i) において「①」と答えた場合のみ, 当該計画や方針等の名称及びその概要について, 記入してください。

(概要の記載例)

- ・ 条例に基づき, 新增改築の際にスロープ等や多機能トイレ, エレベーター等を設置することとしている。
- ・ 平成〇年に実施したバリアフリー化の現状調査に基づき, 必要となる経費を試算した上で, 令和〇年までに, 設置している私立小中学校全てにスロープ等や多機能トイレの設置, 令和〇年までにエレベーター等の設置を完了するよう計画的な整備を進めている。
- ・ 円滑な移動等に配慮が必要な児童生徒が入学・転入等をするようになった際に, 必要なスロープ等や多機能トイレを設置することとしている。

※ 複数の計画に記載がある場合は, 主な計画について回答してください。

※ 対外的に公表していないものの, バリアフリー化に関する整備方針等がある場合については, 名称欄を空欄として, その概要のみ回答してください。

iii) (1) i) において「②」と答えた場合のみ, 学校施設のバリアフリー化に関する整備計画の策定予定を記入してください。

- | | |
|-----------|----------|
| ① 令和2年度中 | → 「1」を選択 |
| ② 令和3年度中 | → 「2」を選択 |
| ③ 令和4年度以降 | → 「3」を選択 |
| ④ 未定 | → 「4」を選択 |

【調査2】学校施設のバリアフリー設備整備状況

- ・学校毎の状況を記載してください。
- ・小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び中等教育学校（以下「小中学校等」という。）の校舎、小中学校等の屋内運動場、特別支援学校の校舎、特別支援学校の屋内運動場に分けて調査してください。
- ・調査票2各シートに記入してください。

（1）学校の基礎情報

i) 当該学校施設の階数を選択してください。

- ① 1（平屋建） → 「1」を選択
- ② 2（2階建） → 「2」を選択
- ③ 3以上（3階建て以上） → 「3」を選択

※ 複数棟ある場合は、校舎については最も階数の多い棟について、屋内運動場については最も床面積が大きい棟について回答してください。

※ 階段室や機械室、倉庫などの塔屋については階数に数えないでください。また、屋内運動場については、2階部分が、いわゆる保守用のバルコニー等のみの場合は、平屋建に該当するものとしてください。

※ 校舎・屋内運動場・その他の機能が複合化した棟は、その棟の階数を回答してください。

ii) 当該学校における円滑な移動等に配慮が必要な児童生徒等や教職員（以下、児童生徒等）の在籍状況を選択してください。

- ① 円滑な移動等に配慮が必要な児童生徒等がいる → 「1」を選択
- ② 円滑な移動等に配慮が必要な児童生徒等がいない → 「2」を選択

iii) 当該学校施設の避難所への指定状況を記入してください。

- ① 避難所に指定されている → 「1」を選択
- ② 避難所に指定されていない → 「2」を選択

※ 災害対策基本法に基づく指定避難所の指定が行われていない場合は、従来の地域防災計画に基づく「避難所」を含みます。

※ 一部分が避難所に指定されている場合も、避難所に指定されているものとします。

(2) 学校施設のバリアフリー設備整備状況

(2-1) 多機能トイレの整備状況

i) 当該学校施設における多機能トイレの整備状況について選択してください。

- ① 1ヶ所以上、車いすの使用者が円滑に利用することができる便所を設けている → 「1」を選択
- ② ①以外 → 「2」を選択

※ 校舎と屋内運動場が一体になっており、多機能トイレが共通に利用されているなど、容易に利用可能な状況にある場合も「1」を選択してください。

ii) (2-1) i) において「②」と答えた場合のみ、ソフト面での対応状況について選択してください。

- ① ソフト面での対応を行っている → 「1」を選択
- ② ソフト面での対応を行っていない → 「2」を選択

(ソフト面での対応の一例)

- ・移動等を補助する特別支援教育支援員等の配置
- ・教職員等による補助

※ この項目についても、可能な限り学校設置者内で把握している情報で回答し、学校現場に確認が必要な際も、電話等での簡単な回答に留めるなど、学校現場の負担増にならないよう最大限の配慮をいただけますようお願いします。

iii) (2-1) i) において「②」と答えた場合のみ、今後の整備予定について選択してください。

- ① 令和2年度中 → 「1」を選択
- ② 令和3年度中 → 「2」を選択
- ③ 令和4年度以降 → 「3」を選択
- ④ 未定 → 「4」を選択

(2-2) 敷地境界から教室等までのスロープ等の整備状況

<敷地境界から教室等のある各建物の出入口まで>

i) 当該学校施設の敷地境界から、全ての教室等のある建物の昇降口・玄関（以下「建物の出入口」という。）までの経路におけるスロープ等の整備状況について選択してください。

- ① 敷地境界から各建物の出入口までのいずれかの経路について、スロープ等で段差を解消している → 「1」を選択
② ①以外 → 「2」を選択

- ※ 段差がない、あるいは段差解消機等を設置済みなど、スロープの必要ない構造となっている場合は「1」を選択してください。
※ 利用時のみ鉄板を設置する等、一時的に設置するものは除きます。
※ 建物の出入口におけるスロープ等の整備状況は含みません。
※ 敷地境界から校舎の出入口までの経路における整備状況については調査票（小中学校等校舎）・調査票（特別支援学校校舎）、敷地境界から屋内運動場の出入口までの経路における整備状況については調査票（小中学校等屋内運動場）・調査票（特別支援学校屋内運動場）に記入してください。
※ 本調査において、教室等とは、校舎においては普通教室、特別教室、多目的教室、少人数授業用教室、ランチルーム、職員室、保健衛生室その他これらに類する室を、屋内運動場においてはアリーナ、集会室、講堂（専用講堂を除く。）、武道場その他これらに類する室を指します。なお、多機能トイレ、エレベーター等の乗降ロビーを含みます（多機能トイレ、エレベーター等が設置されている場合）。

ii) (2-2) i) において「②」と答えた場合のみ、ソフト面での対応状況について選択してください。

- ① ソフト面での対応を行っている → 「1」を選択
② ソフト面での対応を行っていない → 「2」を選択

(ソフト面での対応の一例)

- ・移動等を補助する特別支援教育支援員等の配置
- ・教職員等による補助

iii) (2-2) i) において「②」と答えた場合のみ、今後の整備予定について選択してください。

- ① 令和2年度中 → 「1」を選択
② 令和3年度中 → 「2」を選択
③ 令和4年度以降 → 「3」を選択
④ 未定 → 「4」を選択

<建物の出入口から教室等まで>

iv) (2-2) i) において答えた建物の出入口から、建物の出入口階にある教室等までの経路におけるスロープ等の整備状況について選択してください。

- ① 建物の出入口から教室等までのいずれかの経路について、スロープ等で段差を解消している → 「1」を選択
② ①以外 → 「2」を選択

※ 全ての教室等のある建物について回答してください。

※ 段差がない、あるいは解消済みなど、スロープの必要ない構造となっている場合は「1」を選択してください。

※ 利用時のみ鉄板を設置する等、一時的に設置するものは除きます。

※ 建物の出入口におけるスロープ等の整備状況を含みます。

※ 本調査において、教室等とは、校舎においては普通教室、特別教室、多目的教室、少人数授業用教室、ランチルーム、職員室、保健衛生室その他これらに類する室を、屋内運動場においてはアリーナ、集会室、講堂（専用講堂を除く。）、武道場その他これらに類する室を指します。なお、多機能トイレ、エレベーター等の乗降ロビーを含みます（多機能トイレ、エレベーター等が設置されている場合）。

v) (2-2) iv) において「②」と答えた場合のみ、ソフト面での対応状況について選択してください。

- ① ソフト面での対応を行っている → 「1」を選択
② ソフト面での対応を行っていない → 「2」を選択

(ソフト面での対応の一例)

- ・移動等を補助する特別支援教育支援員等の配置
- ・教職員等による補助

vi) (2-2) iv) において「②」と答えた場合のみ、今後の整備予定について選択してください。

- ① 令和2年度中 → 「1」を選択
② 令和3年度中 → 「2」を選択
③ 令和4年度以降 → 「3」を選択
④ 未定 → 「4」を選択

(2-3) エレベーター等の整備状況

i) (1) i) において②2 (2階建), ③3以上 (3階建て以上) と回答した場合のみ, 当該学校施設におけるエレベーター等の整備状況について選択してください。

① 階と階の間の移動に必要なエレベーター等を1台以上設置している

→「1」を選択

② ①以外

→「2」を選択

※ エレベーター等には、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令第18条第2項第6号の国土交通大臣が定める構造の昇降機を含めますが、その他の簡易的な昇降機や階段昇降車は含みません。(平成18年12月15日付け国土交通省告示第1492号参照)

※ 階と階の間の移動の出来るスロープ等を設置する場合も、エレベーター等を設置しているとみなします。

※ ある建物で上下移動をする際に、校舎と屋内運動場が一体となっておりエレベーター等が共通に利用されているなど、容易に利用可能な状況にある場合もエレベーター等を設置しているとみなします。

ii) (2-3) i) において「②」と答えた場合のみ, ソフト面での対応状況について選択してください。

① ソフト面での対応を行っている →「1」を選択

② ソフト面での対応を行っていない →「2」を選択

(ソフト面での対応の一例)

- ・移動等を補助する特別支援教育支援員等の配置
- ・教職員等による補助
- ・階段昇降機の設置, 階段昇降車の整備
- ・障害のある児童生徒等の移動が生じない工夫

iii) (2-3) i) において「②」と答えた場合のみ, 今後の整備予定について選択してください。

① 令和2年度中 →「1」を選択

② 令和3年度中 →「2」を選択

③ 令和4年度以降 →「3」を選択

④ 未定 →「4」を選択